

# 大阪だより

大阪府道路主事

奥村 泰助

拜啓

有史以來絶へてなき關東の大地震に、吾々大阪市民は此の世の斷末魔かとも思はれし光景を、目のあたり看得せざりしは申す迄もなきに候得共、之が爲に市民に與へたる影響は、土木と云はず建築と云はず都市計畫と云はず進んでは思想問題に至る迄眞に偉大なるものにして、今度大變事に處するの覺悟を訓練する上に於て、甚だ痛烈なる試練を拮めたるものに有之候。或外國人の如きは日本這般の大震火災は日本をして第四等國の範に墜落せしめたりとさへ申せしとか、誠に痛ましくもいみじき犠牲を拂ひたる者にして是に於てか大阪市民は我國第二番目下の所第一の都市たる我大阪が一朝變事に際して前車の轍をふまざる、一大覺悟を痛感したる次第に御座候。元來大阪は震前の東京と異なりて市の地域は一帯に平地にして皆てはその大半は蘆荻擅に繁茂せし池

通 信

沼地たりしものが世の進運に伴ひ漸次所謂新田地を造成し遂に今日の大都市を爲すに至りたるものにして地震に伴ふ海嘯の如きに對しては何等の防備なく加ふるに河川水路は市の東西南北と縦横に疏通致し候こととて橋梁に富み道路狭く更に舊來の商工業地の常として商家住家軒を接し又その場所を撰ばず所をさらはず諸種の工場建設せられて眞に寸土もこれを經濟上利用せられざるは無之有様に候ま、全市を日夜蔽ふて止まざる黒煙は多く候得共之を緩和すべき公園とては日比谷公園に比すべき唯一の天王寺公園か市の東南部に存在する外何物もなく、せめては個人の庭園の廣きを求むるも又得べかざる都市のことに候得ば一朝變事の際には想像するだに胸を刺さる思ひ致し申候殊に先頃物故せられたる今村博士や這般の大地震を十數年前に豫言せられたる今村博士などこの次の大地震は正しく大阪を襲ふものの如くその途の大家にして甚しく心配せられ候こととて吾々大阪市民は一入心痛致居り候去りとてこれが避くべからざる災難なりとせば市民はいつかは來るべき

阿修羅の巷に處して不動尊像の如き不拔の覺悟を養成することこそ肝要と存申候。

都市計畫事業の特別財源として一時盛んに論議せられたる庭園税だの間地税だの、施行の餘地もなき大阪は眞に有事の際には實に悲惨なるもの可有之存候道路は路面こそ近頃色々文明的材料を以て鋪装せられたるも多く相成候得共その幅員に至りては一つも心配なしに自動車十五哩も走らせ得るものは無之橋梁も同じくその數に於ては日本一なるも何れも狭く且つ可燃質材料のもの多く火災を恐るべきは云ふまでもなく殊に櫛比せる建物は殆ど木造家屋なるに搗てて加へて難を避くべき公園なく郊外に逸早く脱れ出つき放射大道路も無之候間今村博士の心配せらるる這回の如き大地震に遭遇しては正しく横濱以上の全滅状態を呈するならむと思ふだに肌粟を生ずるもの有之候。

されば市の要路の當局に於ても震災の經驗に鑑みて既定の都市計畫事業に一大變更を加へて去る十一月十四日都市計畫大阪地方委員會の協議會にその成案

國庫補助金約三千六百萬圓(ニ)河岸地其他廢道敷地賣却收入約七百九十萬圓(ホ)殘額約一億七百萬圓は主として電鐵利益を以て償還財源とする公債收入に仰ぐ計畫の趣に御座候。

右略述致候通り都市計畫事業が一朝有事の日に備ふる様變更せられ申し候ことは誠に吾々市民としては負擔の苦き犠牲を拂ふにしても涙を飲んで甘受すべき恰かも嬉し泣きをする様なる次第に御座候まゝ地震の司にして心ありまさらば仮りに如何にしても免れ得べからざる災難とするも、せめてはこの事業計畫の完成する大正二十三年迄には吾大阪に地震のありまざる様一意専念祈願の外無之候而かも尙欲を申せば右の計畫に加へて(一)市の中央に最も大なる又少なくとも各區に一ヶ所の植樹及水に富める大公園を設置し(二)地震に堪ゆる防火水道設備若しそれが技術上六ヶ敷しいとするならば或は隨所に防火用溜池井戸等を穿つなど適當の方法を講じ又(三)變事に最も不安を逞くすべき暗夜を避くべき電燈不滅設備を攻究し或は又(四)大阪の道路か關東の震前までは木

を附議したる趣に有之候その大要は(一)事業年度を大正十三年度より同二十二年度の十年度とし(二)街路の擴張すべきものは大阪驛より南して難波驛に通ずる二十四間の廣道を横綱として外に三十四路線の内には東西、南北の縦横線の外十二放射路線も含む由に御座候(三)橋梁は都市計畫路線に當れるものは申すまでもなくこれに該當せざる八十二橋を前記事業年度内に總て不燃質構造に改築し更に(四)路幅整理事業として家屋の軒先が道路を冒せるもの多し候間これを改定計畫通り大正十六年度迄に總て軒切りを施行し尙(五)擴築路線中郊外に通ずるものに對しては道路の兩側に約十間乃至二十間の餘剩收用を行ひ區劃整理を實施して建築敷地を造成することなし(六)道路の鋪装工は既定計畫の約一千五百萬圓の工事費を約一千萬圓に減少して在來の道路を鋪装する由に有之候而して之れが(七)事業費は既定額の一億四千萬圓の上に六千萬圓を加へて二億圓となしその(八)財源は(イ)都市計畫特別稅收入約九百七十萬圓(ロ)沿道受益者特別負擔金約三千七百萬圓(ハ)

塊又はアスワルト鋪装等極めて進歩したるものと喜び居り候得共震火に堪ゆべきもなき有様を見ては之を總てコンクリート又はアストンの如き不燃質鋪装に變更せられたきが如きは市民の一入望んで止まざることにして變更都市計畫事業中止に指を染められざりしは市民の甚だ遺憾とする所かと愚考致候尙此の外(五)社會事業の施設としては食糧品又は應急建築材料の不燃質耐震的貯藏庫を設備するが如きは眞に忘るべからざる義と存候。

終りに大阪に於ける土木事業界の愈々多事なるの秋に際して斯界の千兩役者たる直木博士が丸で鷲に油上げを浚はれたるが如き感ある復興院入りは大阪市民の少なからざる損失に御座院得共大阪が救援諸物資に於て京濱二市を完全に救ふたるが如く又帝都並横濱の復興大一座の立役者も大阪より出したといふことは市民のせめてもの慰安であり亦京濱に對する忠義にして只管同博士の健在を祈つて止まざる次第に御座候 敬具

大正十二年十一月十七日